

平和とは何か。私はそう問われてもすぐには答えられなかった。戦争のない世界か。いじめのない世界か。もちろん両方間違いではない。戦争は誰のことも幸せにしない。住んでいた場所は一瞬にして焼け野原となり、家族とは離れ、空襲に怯えながら日々を過ごす。大切に育てあげた息子はお国のためにと命を投げる。

こんな世界は平和だと言えるわけがない。平和とぼけている日本では戦争のことをよく知らない、知ろうとしない人がいることも事実だ。現代の日本人は二度と世界中が悲しみに溢れてしまうような出来事を繰り返さないために、風化させてしまわないために、戦争についてより深く知る必要があると私は考える。

だがしかし、戦争がなくなればこの世界は平和になるのだろうか。私はそうは思わない。もちろん、戦争がなくなる事はとても素晴らしいことだと思う。しかし戦争のない日本でも毎日のように悲しみに暮れ、助けを求めている人々がいる。戦争がなくなろうと、こんなにも苦しいのだ。

それならば、どうすれば「平和」になるのだろうか。そもそも「平和」とは何なのか。一概に言うことはとても難しいことだが、あえて言葉にするのなら、「明日に希望が持てること」だと、私は思う。戦争がなくとも明日に希望が持てない、明るい未来が描けない、そんな状態が平和だと言い難い。

平和について

上宮高等学校3年

半田捺稀

私自身、友だちだと思っていた人たちから度を越えたからかいを受けていた時は明日に希望が持てなかった。平和だと胸を張って言うことができなかった。こんなことは、平和な日本で起きている中の本当に小さな小さな出来事だと思う。自殺や虐待、貧困や買春、そんなことが日常的に行われている世界で、明日に希望を持てる人はそう多くはないのではないかと感じる。もちろんこれは私が考える平和であり、感じ方や考え方は人それぞれだが、どうすれば私の考える「平和」に少しでも近づくことができるのかを考えていこうと思う。

私は平和に近づく第一歩は「知ろうとすること」だと考える。明日に希望の持てない人々の抱える複雑な問題の全てを理解することはとても難しいことだが、知る努力をすることは自分自身の無意識を自覚し、意識を変えていくことで少しずつ平和へと近づいていくことができるのではないかと考える。私自身も知る努力を怠ったため、人を無意識に傷つけてしまったこともあると感じているため、小さいな場面でも「知ろうとすること」を日々大切にしていきたいと考える。

平和というものは、一言で表すことができるようなものだが、一人一人が過去やこれからの課題、他者のことそして自分自身のことを知ろうとすることで何かが変わるきっかけになると考える。現実から目を背けず、向き合うということを大切にしていきたいと私は思う。